



# 若草園を支える会 会報 後援会だより

2022年(令和4年) 8月8日発行 第51号

事務局: 社会福祉法人 栄光会 若草園 内

〒787-0155 高知県四万十市下田 2 2 1 1

Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518

ホームページ⇒ <https://wakusaen.holy.jp/>

会長: 矢野川研 編集: 瀬戸雅弘



取引口座 ゆうちょ銀行 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園  
幡多信用金庫 下田支店 (普) 83497 若草園を支える会 会長 矢野川研

機関紙『わかくさ』第61号を同封しております。

## ◆夏休みはじまる



若草園の子ども達が通う小中学校と大方高校は7月20日、はたのうは1日早い19日が終業式。いよいよ長い夏休みに突入しました。各ホームで予定していた夏休みの外出計画もコロナ蔓延第7波により中止とせざるを得なくなったことに加え、梅雨明け後の天候が不順なこともあり、若草園の地域交流多目的ホールの卓球台は人気で、子ども達が入れ替わりピンポンに興じる姿をよく見かけます。補習や部活で登校する日もありますが、2学期の始業式は8月29または30日でそれぞれ39日または40日の休日がはじまりました。

## ◆支援の状況について



機関誌『わかくさ』には決算報告が添付されておりますが、昨年度、法人全体に寄せられた寄付金は約131万円でした。毎年、慈善財団等からも大口寄付がよせられますので単純には比較できませんが、個人からの寄付金は例年100万円程度で推移しております。コロナ発生以降は善意が多く寄せられている傾向があります。

若草園を支える会の会費はPRを主体と切り替えた事もありますが約37万円と、設立15年の中で最低額となりました。会員数も賛助会員を含めても最少となりました。

法人の寄付では57件中6件がホームページを見て寄せられたと判断されます。若草園を支える会は2021年度会員175人中1人がホームページから加入して下さったように見られます。

法人の寄付物品の中で珍しいものがあります。四万十市にふるさと納税をされた方がその返礼品を受け取らずに市役所に「児童養護施設にそのまま寄付して欲しい」と申し出られ、市職から寄付物品が届く連絡を受けたというケースがありました。支援の形もさまざまになったと感じます。

若草園を支える会は、この地域に児童養護施設の存在を知らない方がまだ多いことを受けて、若草園の広報を担う働きがあります。賛助会員という形もございますので、お知り合いに若草園の存在を広げて頂ければ幸いです。

## ◆新しい運営方式

若草園を支える会の新年度が7月から始まりました。昨年より役員を主体とした運営に切り替わり、決算・事業報告は役員会で承認されます。ご意見・ご質問・ご感想などがございましたら事務局までお寄せ下さい。



(ドローン撮影)



事務局直通メール  
wakusaenjimu  
@  
dream.ocn.ne.jp



## ◆報告「ホーム活動支援金」

昨年、若草園を支える会から若草園で今、暮らしている児童への新しい支援として「ホーム活動支援金」が創設されました。きっかけは、ある会員から暑い夏に「園の子ども達にアイスクリームを食べさせてあげて！」と指定の寄付金があったことから、寄せられた浄財を在園児童の教養娯楽のためにもっと有効活用する必要があると感じたことにあります。初年度は以下のような申請がありました。それぞれホームが工夫した活動ができたようです。

ホーム	申請日	実施日	金額	内 容
A	R3. 9. 13	R3. 9. 19他	40,000	誕生日会の充実
B	R4. 2. 28	R4. 3. 28	40,000	野外アスレチック施設（津野町）
C	R4. 3. 12	R4. 3. 14	10,000	誕生日寿司パーティー
C	R4. 6. 12	R4. 6. 16	14,982	100点ごほうびパーティー
C&平野	R4. 6. 8	R4. 6. 13	9,450	さとうみ水族館観覧
平野	R4. 3. 20	R4. 3. 25	35,000	西島園芸団地いちご狩り
具同	R4. 5. 30	R4. 6. 6-25	40,000	誕生日会の充実
あおば	R4. 6. 22	R4. 6. 27	26,782	あおばカフェ備品準備
	合計		216,214	

